

2009年～2010年度 国際ロータリー 第2660地区インターアクト年次大会

インターアクト委員会
委員長

田中 康正
(八尾RC)

2009年-2010年度インターアクト年次大会が9月27日(日) ホテルアウィーナ大阪にて「笑顔で結ぶ国際交流-英語落語を通じて」と題して開催されました。

担当校は清風学園中学校・高等学校、ホストクラブは大阪南ロータリークラブです。当日は大谷Gを迎え6校の生徒63名・顧問先生13名・ロータリアン40名・ローターアクター10名の合計126名の参加で開催されました。

開会式の後、各校インターアクター代表からの活動報告があり、それぞれの学校で「赤い羽根募金活動・日本盲導犬協会の支援・あいさつ運動・老人ホーム施設での清掃活動・各地域での清掃活動・献血活動」等、独自の活動内容報告がありました。今年度は、メイン活動行事でもある海外研修(韓国)、新入生歓迎会行事が新型インフルエンザの影響により中止や延期になり残念な結果となりましたが、生徒達は元氣よく活動発表に励んでおりました。

続いて日本落語協会より、桂あさ吉氏に講演にきて頂き「笑顔で結ぶ国際交流」をテーマに英語落語を聞かせて頂きました。桂あさ吉氏の昌頭挨拶の中で「日本はどの国よりも恵まれており感謝をしよう。お金は無くなるが、人から思われる心はいつまでも無くならない。人の気持ちを大切に

しましょう」と話されました。落語という伝統文化を通して“笑い”という普遍性に至りたいという願いが込められています。

インターアクトクラブの目的条文に「国際理解と全人類に対する善意を増進する」というくだりがありますが、国際交流を笑顔で結ぶことに努めていきたい、相手に微笑みを贈り続ける大人になっていきたいと言う気持ちが込められていました。

午後からは生徒が7グループに分かれて英語落語に挑戦しました。初めはお互いに遠慮してなかなかスムーズにできなかったのですが練習を重ねるうちに段々と打ち解けあい、最後にそれぞれのグループから1名が発表しました。男子生徒5名・女子生徒2名が発表してくれたのですがそれぞれ皆個性豊かな内容で、甲乙つけるのは非常に難しかったです。

年次大会の最後は次年度担当の大阪桐蔭高校へ引き継ぎを行い無事終了しました。このような有意義な年次大会を企画運営されました清風学園中学校・高等学校の皆様、大阪南ロータリークラブの皆様、心から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

